



平成26年 2 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月 9 日

上 場 会 社 名 株式会社東京個別指導学院 上場取引所 東
 コード番号 4 7 4 5 URL <http://www.kobetsu.co.jp/>
 代 表 者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)的場 一成
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)舟戸 彰一 (TEL)03(5547)3759
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 平成25年11月21日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年 2 月期第 2 四半期の業績（平成25年 3 月 1 日～平成25年 8 月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年 2 月期第 2 四半期	6,688	7.9	△79	—	△77	—	△64	—
25年 2 月期第 2 四半期	6,200	5.1	△234	—	△230	—	△152	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年 2 月期第 2 四半期	△1 18	— —
25年 2 月期第 2 四半期	△2 82	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年 2 月期第 2 四半期	8,004	6,321	79.0
25年 2 月期	8,216	6,548	79.7

(参考) 自己資本 26年 2 月期第 2 四半期 6,321百万円 25年 2 月期 6,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年 2 月期	— —	3 00	— —	3 00	6 00
26年 2 月期	— —	3 00			
26年 2 月期(予想)			— —	3 00	6 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 2 月期の業績予想（平成25年 3 月 1 日～平成26年 2 月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,211	9.2	1,180	64.7	1,184	63.6	651	81.6	11 99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年2月期2Q	54,291,435株	25年2月期	54,291,435株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年2月期2Q	51株	25年2月期	51株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年2月期2Q	54,291,384株	25年2月期2Q	54,291,385株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
 - ・平成25年10月9日（水）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
4. 補足情報	9
(1) 販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、各種政策の効果が発現するなかで、製造業を中心に企業収益が改善するなど景気は着実に持ち直しているものの、欧州政府債務問題、アメリカにおける財政問題、中国経済の先行きなど、海外景気が引き続き下押しするリスクとして懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社は中期経営計画「Shining☆2016」の2年目として、高品質・高付加価値にこだわって毎年成長するという基本成長戦略のもと、5つの重点戦略（目標・目的の明確化、受験・進路指導力の強化、新規開校・リニューアルの加速、付加価値向上によるLTV増加、マーケティング改革）を全社一丸となり全力で進めて参りました。

また、5教室の新規開校（平成25年6月に全て直営で全国206教室達成）、顧客の利便性や収益性向上を目指し教室移転・リニューアル、前期より継続実施のWebマーケティングならびに自社コールセンターの強化、また3～4月には当社初となるテレビコマーシャルを実施など、新規生徒獲得につながる活動を積極的に行って参りました。また、昨年11月に一部の教室でサービスを開始した個別指導をさらに強化するiPadを利用した映像学習「高速演習 V－s t y l e」を5月に全教室導入するなど、生徒一人ひとりのニーズにあった付加価値の高いサービスの実施を行って参りました。

その結果、新規入会者数は大幅に増加し、在籍生徒数は好調でありました前期実績を上回って堅調に推移したこと、更に夏期講習会も好調であったことから、売上高は6,688百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

損益面におきましては、5教室の新規開校・教室移転・リニューアルの設備投資、テレビコマーシャルを実施するなど、生徒獲得活動を積極的に行う一方で、コストの効率化・適正化を追求いたしました。結果、営業損失は79百万円（前年同四半期は営業損失234百万円）、経常損失は77百万円（前年同四半期は経常損失230百万円）、四半期純損失は64百万円（前年同四半期は四半期純損失152百万円）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

（財政状態）

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ212百万円減少し、8,004百万円となりました。資産の増減の主なものは、営業未収入金の増加額1,446百万円、有形固定資産の増加額52百万円、現金及び預金の減少額1,718百万円であります。負債は前事業年度末に比べ14百万円増加し、1,682百万円となりました。負債の増減の主なものは、未払費用の増加額321百万円、前受金の増加額134百万円、未払法人税等の減少額290百万円、未払金の減少額177百万円、未払消費税等の減少額42百万円であります。純資産は前事業年度末に比べ226百万円減少し、6,321百万円となりました。これは主に剰余金の配当162百万円、四半期純損失64百万円によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ281百万円増加し、当第2四半期会計期間末には4,262百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動の結果支出した資金は1,394百万円（前年同四半期累計期間は1,189百万円の支出）となりました。

これは主に、夏期講習会売上に伴う営業債権が一時的に増加したこと及び、営業損失を計上したことなどによるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動の結果獲得した資金は1,839百万円（前年同四半期累計期間は140百万円の支出）となりました。

これは主に、新規開校に伴う敷金及び保証金の差し入れ、有形固定資産等の取得による支払いを行ったものの、定期預金の払戻による収入があったことによるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動の結果支出した資金は163百万円（前年同四半期累計期間は163百万円の支出）となりました。

これは主に、配当金の支払いを行ったことによるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、平成25年4月10日に公表いたしました平成26年2月の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成26年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、今後の経営環境の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間から、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,981,267	4,262,697
営業未収入金	247,770	1,693,815
たな卸資産	26,541	44,004
その他	341,953	322,523
貸倒引当金	△15,454	△22,598
流動資産合計	6,582,079	6,300,443
固定資産		
有形固定資産	319,264	371,302
無形固定資産	153,102	135,100
投資その他の資産		
敷金及び保証金	973,146	1,008,734
その他	189,209	188,465
投資その他の資産合計	1,162,355	1,197,200
固定資産合計	1,634,722	1,703,603
資産合計	8,216,801	8,004,046
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,034	16,817
未払法人税等	309,455	18,474
賞与引当金	136,430	167,634
役員賞与引当金	44,937	—
その他	1,131,421	1,453,072
流動負債合計	1,635,279	1,655,999
固定負債		
その他	33,118	26,570
固定負債合計	33,118	26,570
負債合計	1,668,397	1,682,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	642,157	642,157
資本剰余金	1,013,565	1,013,565
利益剰余金	4,892,686	4,665,759
自己株式	△6	△6
株主資本合計	6,548,403	6,321,476
純資産合計	6,548,403	6,321,476
負債純資産合計	8,216,801	8,004,046

（2）四半期損益計算書
第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日）	当第2四半期累計期間 （自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）
売上高	6,200,503	6,688,677
売上原価	4,075,439	4,202,777
売上総利益	2,125,064	2,485,900
販売費及び一般管理費	2,359,066	2,565,574
営業損失（△）	△234,002	△79,673
営業外収益		
受取利息	1,879	1,077
未払配当金除斥益	763	623
その他	411	424
営業外収益合計	3,054	2,125
営業外費用		
支払利息	44	20
営業外費用合計	44	20
経常損失（△）	△230,992	△77,568
税引前四半期純損失（△）	△230,992	△77,568
法人税、住民税及び事業税	3,356	3,411
法人税等調整額	△81,351	△16,926
法人税等合計	△77,994	△13,514
四半期純損失（△）	△152,997	△64,053

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△230,992	△77,568
減価償却費	68,044	75,173
長期前払費用償却額	11,338	16,758
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,361	7,143
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,761	31,204
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,755	△44,937
受取利息	△1,879	△1,077
支払利息	44	20
売上債権の増減額(△は増加)	△1,248,322	△1,446,044
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,471	△17,463
その他の流動資産の増減額(△は増加)	13,625	36,091
仕入債務の増減額(△は減少)	10,316	3,783
前受金の増減額(△は減少)	134,992	177,973
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,544	△42,385
その他の流動負債の増減額(△は減少)	16,331	176,470
小計	△1,197,117	△1,104,857
利息の受取額	1,869	1,163
利息の支払額	△44	△20
法人税等の還付額	8,387	30
法人税等の支払額	△2,472	△290,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,189,377	△1,394,647
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△115,752	△99,082
無形固定資産の取得による支出	△9,980	△9,540
敷金及び保証金の差入による支出	△44,710	△50,105
敷金及び保証金の回収による収入	37,473	4,885
長期前払費用の取得による支出	△7,716	△6,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,685	1,839,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,151	△1,176
配当金の支払額	△162,598	△162,699
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163,749	△163,875
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,493,812	281,429
現金及び現金同等物の期首残高	3,183,606	3,981,267
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,689,794	4,262,697

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

当第2四半期累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

当社の報告セグメントは、個別指導塾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を学生区分別に示すと、次のとおりであります。

学生区分別の名称	当第2四半期累計期間	
	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
小学生	606,600	115.7
中学生	2,669,663	116.3
高校生	3,412,413	100.9
合計	6,688,677	107.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。